

【施策評価調査】

施策名	3-4-2	交通安全施設の整備		102	本町の交通量の増加に伴い、交通安全対策が重要となっており、組織育成などのソフト面と交通安全施設の整備などのハード面が必要になっている。 本施策では、ハード面の整備を充実させ交通安全事業の行政としての役割をはたすものです。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部署	総務企画部 地域安全課	担当 リーダー	危機管理担当 岡本英男		
環境変化					交通事故の削減を目指して、ガードレール、カーブミラー、外側線(路肩を示す線)等の交通安全施設を計画的に増設するとともに、老朽化したカーブミラーの交換を行います。 (「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標 : 交通事故発生件数(件)	平成16年度町内人身事故発生件数	計画	240件	235件	230件	225件	220件
	252件	実績	212件	199件	146件		
指標 : 人口10万人当り交通事故発生件数(件/人)	平成16年度人口10万人当り交通事故発生件数	計画	761.9件	739.7件	718.2件	697.3件	677.0件
	817.6件	実績	682.7件	640.1件	472.0件		
指標 :		計画					
指標 :		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	4,500,000	5,500,000	10,110,000		
	決算	4,494,000	4,746,000	10,006,290		

事務事業事前評価 22年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか?(アウトカム)		
仁井田コミュニティゾーン整備事業費	H21 現計 2,500,000	カラー舗装面積	カラー舗装をすることによって、ドライバーに注意を促し、子供や高齢者などの交通弱者を交通事故から守ることができることと、全体的な事故防止に寄与する。	今後の方向性(総合評価)	廃止
	H22 計画 3,000,000				
交通安全施設設置事業費	H21 現計 5,000,000	人身事故の発生件数の減少	カーブミラーやガードレールを設置することによって、危険が回避され住民の安全を図ることができる。	今後の方向性(総合評価)	条件付継続
	H22 計画 11,070,000				
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画				
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画				
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画				

施策事前評価 22年度の組立て

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性	カラー舗装を行うことにより、ドライバーから歩行者等の視認性が高まる。また、カーブミラーやガードレールなどの交通安全施設の設置により歩行者等の安全性は高まってきていることから継続的な整備を行うことにより、安心安全のまちづくりを進める。	カラー舗装やカーブミラーなどの交通安全施設の整備をさらに進めることにより、交通事故を減少して住民の安全を図る。
現状水準維持			
総合評価	交通安全運動推進の啓発活動と相まって、年々交通事故発生件数も減少してきており成果はあがっていると判断する。 後期計画に向け、これまで行ってきた整備箇所の効果を検証し、それを基にした上で、予防保全的な危険箇所の改善を図るべく、計画的な施策展開を期待する。 なお、現下の経済情勢を踏まえ、本当に必要な箇所の整備を優先することとし、「仁井田コミュニティゾーン整備事業」については、H22年度予算計上は見送りとする。		